

平成18年度事業報告書

事業の概要

平成18年度は、次の事業を実施した。

1. 広報誌「心と社会」の発行

今日の精神保健福祉が直面する重要課題を取り上げるとともに、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を内容とする「心と社会」を次のとおり発行した。

- ① 124号（平成18年6月30日発行） 162頁 2,300部
特集 メンタルヘルスの集い(第20回日本精神保健会議)
「医療と福祉の連携の近未来像－精神障害者と共に生きる社会を目指して－」
- ② 125号（平成18年9月27日発行） 112頁 2,500部
特集 第50回精神保健シンポジウム（旭川）
睡眠からみた心と社会
- ③ 126号（平成18年12月26日発行） 106頁 2,500部
特集 スピリチュアリティと現代のこころ
- ④ 127号（平成19年3月20日発行） 108頁 2,500部
特集 子どもの攻撃性と暴力

2. 精神保健福祉関係冊子の出版

① 家族のメンタルヘルスに関連した問題を取り上げている「こころの健康シリーズⅢ」を発行した。

- No. 8 「子ども虐待と家族支援」 (平成18年6月発行)
東京都児童相談センター治療指導課長 犬塚峰子 8頁 3,000部
- No. 9 「介護保険の現状と問題点」 (平成18年7月発行)
福島大学教授 生島 浩 8頁 3,000部
- No. 10 「夫婦カウンセリングのいろいろ」 (平成18年8月発行)
埼玉県立大学 市村彰英 8頁 3,000部
- No. 11 「病気と家族」
高崎健康福祉大学 渡辺俊之 (平成18年10月発行)
8頁 3,000部
- No. 12 「ジェンダーと家族」
東京学芸大学 田村 毅 (平成18年12月発行)
8頁 3,000部

3. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の精神保健関係団体と共催で、地域が当面する精神保健に関する課題をテーマにシンポジウムを開催しているが、本年度は下記のとおり実施した。

①第50回精神保健シンポジウム（旭川市）

日 時：平成18年7月8日 13:00～17:00

場 所：旭川グランドホテル

共 催：旭川医科大学医学部精神医学教室（千葉 茂教授）

テーマ：現代社会と不安

内 容：特別講演

「快適な生活のための『睡眠学』」

大川匡子（日本睡眠学会理事長、滋賀医科大学精神医学講座教授）

講演

「ストレスと睡眠」

稲葉央子（旭川医科大学医学部精神医学講座）

「睡眠障害の治療の実際」

田村義之（旭川医科大学医学部精神医学講座）

総合討論

参加者：170名

4. メンタルヘルスの集い（第21回日本精神保健会議）の開催

子どもの虐待は、この10年あまり急増して社会問題になっていることから、これをどう防ぐか、に焦点を当てこの問題に種々な立場で関わっておられる専門家の方々にパネリストとしてご発言いただき、会場参加者との討論を通し問題解決に役立てようというフォーラムを実施した。

日 時：平成19年3月3日 10:00～15:30

場 所：有楽町 朝日ホール

テーマ：子どもの虐待をどう防ぐか

内 容：＜フォーラム＞

司 会 片岡玲子 立正大学心理学部教授

高塚雄介 （財）日本精神衛生会理事、

日本精神衛生学会理事長

パネリスト 犬塚峰子 東京都児童相談センター治療指導課長

国分美希 児童養護施設至誠学園擁護部副部長

坂井聖二 （社福）子どもの虐待防止センター理事長

高江幸恵 育児ジャーナリスト

西澤 哲 大阪大学大学院人間科学研究科助教授

＜特別講演＞

ふるさとから世界へ「一本の道」

原田泰治（画家）

参加者：320名

5. ホームページの内容を充実し、精神保健に関する情報を豊富にして、社会の啓発、精神障害への偏見是正に資した。

6. 日本精神保健連盟の一員として国内の精神保健福祉諸団体と協力した。また、広報誌「心と社会」の海外ニュース欄にて世界の精神保健関連情報を紹介した。さらにWFMH日本支部と情報交換を行った。

以 上